

令和五年度 一般入学試験（A日程）国語

徳山看護専門学校

受験番号		
氏名		
得点		

問題一 次の文章を読んで問いに答えてください。

※ 解答はすべて解答用紙に記入してください。

「オオカミ王ロボ」を読んだことはありませんか。今も全国の小学校図書館で子供たちを夢中にさせるあのシートン動物記。作者は、画家でもあるアーネスト・シートン。イギリス生まれカナダ育ちのアメリカ人です。森や草原の生き物を主人公にして多くの動物記を書きました。それが、シートンの優しさです。

そのシートンに、珍しく **1** を主人公にした物語があります。「森のロルフ (ROLF IN THE WOODS)」。かなりの長編です。

シートンは、物語の前書きにこのようなことを書いています。

「私は、この物語を、少年たちが人生の苦難に満ちた道を高みへ向かって登ろうとするとき、なんらかの助けになるようにと思って書きました。」

どうですか。シートンの、少年たちへの期待にあふれた言葉ですね。

さて、「森のロルフ」。物語の舞台は今から二〇〇年ほど前のアメリカ東部。ニューヨークを河口にもつハドソン川を、カナダ国境近くまで北にさかのぼった辺りをイメージしてください。美しい大小の湖が点在する広大な森林地帯です。

主な登場人物は、主人公の十五歳の白人少年ロルフ。祖父が牧師という

2

の篤い家庭に育ちましたが、身寄りを亡くし一人になりました。そして、偶然頼

ってきたロルフを、父親のように見守り育てるクオナツプ。背の高い、寡黙で強い意志を秘めたインディアンです。さらにもう一人、いや一匹。いたずら好きのま

だ生まれて八か月の雑種犬スクーカム。このスクーカムが物語をうんと面白くさせています。

白人の子供が、宗教心も持たないインディアンと暮らすとは。町の人々が心配しロルフを保護しようとはしますが、ロルフはクオナツプと一緒にいたいと彼に訴えます。そこで、クオナツプはロルフに「ニボワカ (賢い人)」というインディアン名を付け、草の葉で皮膚を褐色に染め、インディアン少年に変装させて **3** を

求め北に向かいます。それは白人世界から逃げたのではなく、ロルフに一人で生きる力を付けようとしたのです。当時、アメリカの奥地には、最初に足を踏み入れた者がその地を手に入れるというルールがありました。そこを目指して歩き始めます。そして、カナダ国境に近い、誰もいない、一年の半分近くが雪と氷の大自然の中に小さな小屋を建て、二人と一匹は狩猟生活に入ります。画家でもあるシートンの挿絵がふんだんに添えられていますので、この本を読めば、だれでも胸がわくわくし冒険心が沸き起こり、すぐに狩猟生活を始めたくなるほどです。

ここで、クオナツプを先生にロルフは森に生きる知恵と技と忍耐力を身に付け、たくましく成長していきます。なにもものをも恐れないロルフの勇氣と挑戦は、まさに、アメリカのフロンティアスピリット (開拓者魂) そのものです。

ロルフが十八歳になったとき、アメリカとイギリスとの間に戦争が始まり、森を知り尽くす二人は、アメリカ軍にスカウトとしての任務を与えられます。知恵と体力と強い精神力を要求される危険な任務を、二人は、いや二人と一匹は抜群の働きで成し遂げ、白人であるロルフは周囲から注目される存在になっていきます。一方、インディアンであるクオナツプは、そのロルフを、黙って、だが油断なく見守り何度も彼の危機を救います。スクーカムが、ロルフを助けたこともあります。

戦争が終わると、二十二歳のロルフは湖畔のオランダ人少女アネットと結婚して幸せな家庭を築き、事業家として大きく成功し、やがて、国から頼られる人物へと成長していきます。作者はロルフのそれからの人生を紹介していませんが、読者はロルフを、そう、リンカーン大統領やワシントン大統領の姿に重ねてみたくなるほどです。一方、クオナツプは、広いロルフの土地のお気に入りの場所に小さなバンガローを建て、静かに暮らしていくのです。スクーカムといっしょに。ところが、読み終わって、ふと思うのです。この物語の本当の主人公は誰なんだろう。

普通、 **4** は物語の主題を暗示する大切な部分ですが、シートンはこう書き出しているのです。

1 アサマク河の東に断崖がある。その崖の下に、インディアンのテントがひとつあった。ミヤノス・シナワ族の最後の男、クオナツプの住まいだ。毎朝、彼は断崖の一番上に立つ。遠く大西洋が見える。その海の上に朝日の最初の光が差し込んだとき、クオナツプは歌う。小さな太鼓をトントンと打ちながら歌う。

「ここは、マイン・マヤノの地。わが祖先の眠る大地。わが妻と子も眠る。すべての上に燃え輝く太陽よ。ここからそなたに挨拶し、そなたを崇む！」

この物語が書かれたころのアメリカは、黒人奴隷解放運動に端を発した南北戦争と、リンカーン大統領暗殺の記憶も生々しい時代でした。人種差別はまだ濃厚に残っていました。野蛮だと思われるインディアンが宗教的行事をもっているとは、毎朝神に祈りをささげているとは、当時、アメリカの白人の多くは思っていないのではないでしょうか。シートンは、そのインディアンに朝日を当てて筆を起こしているのです。そして、この物語は次のように終わります。

2 クオナツプはマイン・マヤノで五十年を暮らした。その五十年に二十五年が加わり、今はもう目がかすんでいた。眉には冬の霜に似た白いものがちらほらと散るようになった。だが、クオナツプは前にもまして日の出を崇める。そして、最近、日没を拝む礼拝用のロッジを作った。燃える夕空に向かって歌う。

「われは今やたそがれの人間。われも、わが民族も。やがて、夜はわれらの上におおいかぶさる。」

そして、クオナツプは旅に出た。出会った男にこう言った。

「ニボワカという賢い男に伝えてくれ。わしは行かねばならぬ日が来た、と。海から日が昇る地に行かねばならぬ。」

聞いたロルフは四代目スクーカムを連れてすぐに追った。クオナツプの行き先は分かっていた。マイン・マヤノの地。行って、土地の農夫に聞いた。

「昨日、背の高いインディアンがやって来た。一番静かな時間に崖の上から太鼓の音が聞こえた。高く低く抑揚を繰り返す歌声も聞いた。だが、それからは聞こえない。」

物語の始めと終わりに、 **5** を受けるインディアンのクオナツプを立たせているのです。私は、シートンの勇氣を思います。

(アーネスト・T・シートン作「森のロルフ (藤原英司訳・集英社)」による)

問1 文中傍線を引いた次の漢字を読んでください。

- ① 夢中 ② 苦難 ③ 河口 ④ 皮膚 ⑤ 褐色 ⑥ 挿絵 ⑦ 湖畔 ⑧ 祖先 ⑨ 生々しい ⑩ 拝む

問2 文中 1 5 の中に入ると思われる語句を次の中から選んでください。

- 【ア 新天地 イ 書き出し文 ウ 人間 エ 太陽の光 オ 宗教心】

問3 問題文は意味の上で大きく二つに分かれています。後半部分の最初の一文を書き出してください。

問4 問題文は「私は、シートンの勇気を思います。」と結ばれますが、この「シートンの勇気」を具体的に表す表現が、問題文の中に二箇所あります。その文を書き出してください。

問5 枠内の文章①と②は原文の引用です。それぞれの枠の中であなたの胸を打った表現を書き出してください。文量は自由です。

問題二 これは、「父へ贈るうた（佐佐木幸綱編・毎日新聞社）に掲載されている千葉県の子の女性の短歌です。

この場面をあなたの想像で楽しくふくらませ、百字以内で書いてください。どのような書き方でもかまいません。

「思いきりきれいなピンクのセーターで眼帯とれる父に会いにゆく」

問題三 語句の問題に答えてください。

問1 次の言葉を使って短文を作ってください。

「予断を許さない」

問2 次は対義語（反対語）です。 に入る語を選んでください。

- ① 雨期 | 期 ② 少数派 | 数派 ③ 偶然 | 然 ④ 有機物 | 機物 ⑤ 赤字 | 字

【ア 必 イ 無 ウ 乾 エ 黒 オ 多】

問3 次の に漢数字を入れて語句を完成してください。

- ① 長 短 ② 死に 生を得る ③ 寒 温 ④ 捨 入 ⑤ 人 脚